

2008年9月

さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

定期スクリーニング検査

合併症対策分析・広報部 課長 桜井 寛

まだまだ暑い日が続きますが、体調管理に気をつけてお身体をご自愛してください。

透析技術の進歩に伴い一般の方とかわらない社会生活を送られている透析患者様も多くなりましたが、糖尿病が原因または高齢で透析導入となる方も年々増えてきています（図 1）。この事は透析導入される前より、すでに何らかの疾患にかかっている可能性が高くなっている訳です。

すこやかに透析生活を送っていただくために、偕行会グループでは早くから透析合併症に取り組み、早期発見・早期治療を目的とした定期的なスクリーニング検査に取り組んできました。今回はその定期スクリーニング検査についての意味や意義を理解していただきたいと思い、簡単に説明していききたいと思います。

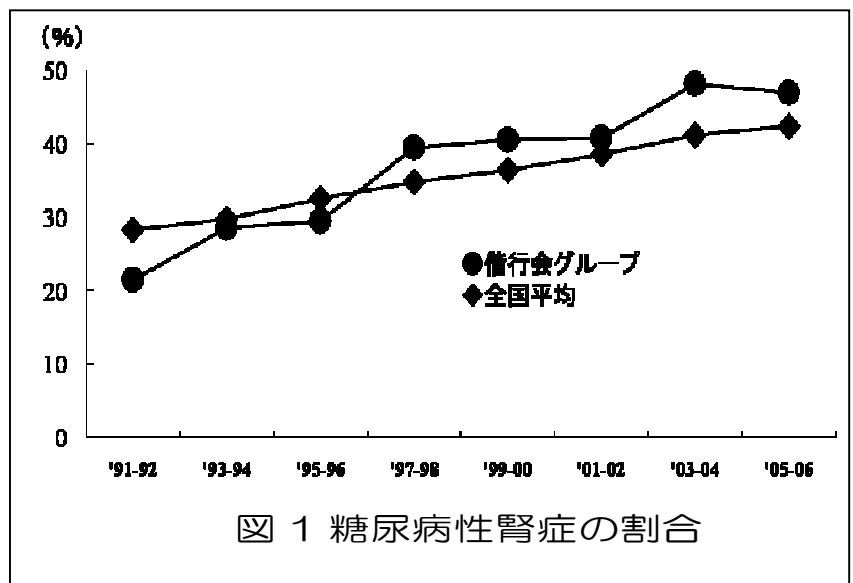


図 1 糖尿病性腎症の割合

定期スクリーニング検査とは

スクリーニングとは、様々な状況や条件の中から必要なものを選出すると言う意味があります。これをスクリーニング検査に当てはめると様々な病気や症状に対応するために必要な検査ということになります。ただ、医療の場合は病気や症状が発症してしまってからでは、手遅れになってしまう事がありますので早期発見・早期治療的に行う検査のことをスクリーニング検査と言います。その検査をある一定期間ごとに行なうので、定期スクリーニング検査と呼んでいます。